４．アイディアいっぱい委員会活動

「自分たちの図書館」「読書は楽しい」という気持ちを子どもたちがもつようにするために、子どもたち自身の活動が活発になるよう支援した。図書委員会の子どもたちは、やる気いっぱいでアイディアを出し合い活動を楽しんだ。

（１）図書集会

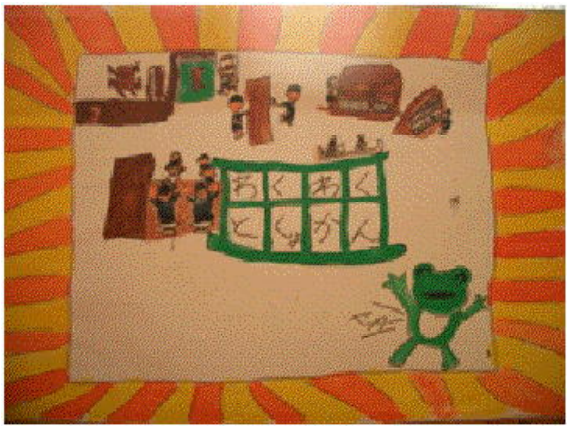
全校の子どもたちが読書の楽しさや図書館利用の仕方が分かるように、図書委員会の子どもが図書集会を定期的に計画・実施している。図書委員会の子どもが創意工夫して、情報発信することによって、他の子どもたちも喜んで意欲的に集会に取り組んだ。

↑図書集会　劇「図書館利用３つのルール」

図書館利用の３つのルール（①静かに読もう②本を大切にしよう③本をもとの場所に返そう）や貸出の方法について劇で紹介したり、大型絵本の読み聞かせを行ったりしました。

↑　図書集会　劇「家読の仕方」

「家読の仕方」について、劇を作って保護者と全校児童に発表した。分かりやすい内容と図書委員の熱演で、保護者に家読に取り組んでもらうきっかけとなりました。



↑　図書集会　紙芝居「わくわく図書館物語」の発表

昨年夏にリニューアルした「わくわく図書館」のよさを物語形式にまとめた紙芝居「わくわく図書館物語」を発表したり、図書委員のおすすめ本の紹介を行ったりしました。

（２）魅力ある図書館イベント

①チャレンジゾロリ

かいけつゾロリシリーズ（原ゆたか作　ポプラ社）を読むと、本を返す時に専用の用紙シールを貼ってもらえるという企画を行った。低・中学年の児童を中心に多くの子どもが参加し、期間を延長するほどの人気だった。

②図書館クイズ

図書委員が好きな本から３問程度の問題を作り、本と一緒に図書館の畳スペースに置いた。休み時間になると、子どもたちが本を読みながら図書館クイズに挑戦していた。全問正解者は、名前を書いてラティスに貼りつけるようにした。図書館に来る子どもが増えた。

↑　ラティスに貼られた図書館クイズの正解者。図書館は大盛況でした。

↑　畳スペースで図書館クイズに挑戦
くつろげる場所・畳スペース

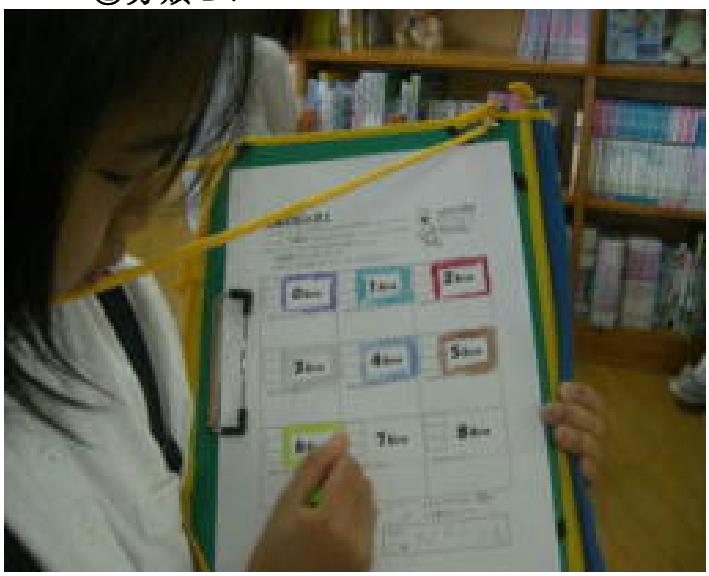
③手作りミッケ

←　　手作りミッケ

図書委員会の手作りの「手作りミッケ」です。広告に載っている商品を切り抜いて、色画用紙に貼りつけたものに問題を書き、「手作りミッケ」として紹介した。

畳の上でくつろぎながら、楽しそうに 探す子どもの姿が見られました。「手作りミッケ」を楽しみに図書館に来る子どもも増えました。

④分類ビンゴ



←　　分類ビンゴ

図書委員会で、いろいろな分類の本を見つけられる「分類ビンゴ」を作りました。図書館の中を歩き回り、いろいろな分類番号の本を探し出します。

⑤図書館の季節の催し

短冊を七夕の笹に飾る七夕祭り、サンタへの願い事を書き、ツリーに飾るクリスマス等、児童が楽しめる季節の催しを図書館で行った。

図書館の中の七夕飾り　　→

七夕にあわせ、笹竹を図書館に置き、七夕飾りをつけるようにしました。短冊を書きに図書館に来る子どももいて、図書館にくる子どもが増えてきました。

（３）読書郵便

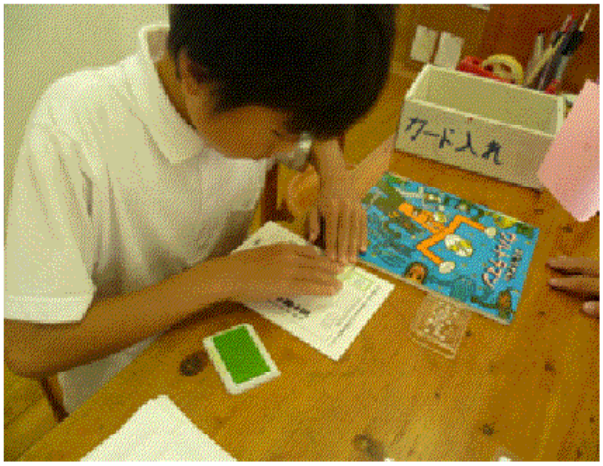
図書委員会が五十猛小わくわく郵便局を開き、全校で読書郵便に取り組んだ。「どうぞはがき」や「ありがとうはがき」を書いたり送ったりすることにより、本の楽しさを伝えたり感想を交流したりする喜びを味わわせ、本に親しみ読書への意欲を高めようとした。読書郵便期間中に読書郵便用に貸し出された本の冊数は200 冊を超え、送られたはがきの数は443 枚にもなった。

「読書郵便の説明」　　→

さあ、読書郵便の始まりです。だれに出す？　だれから届く？わくわくどきどきの読書郵便です。

切手を貼ったり、郵便番号や宛先を実際に書いたりして、本物の郵便のように実施しました。はがきに当選番号をつけたり、往復はがきを使ったりと楽しい企画がいっぱいでした。

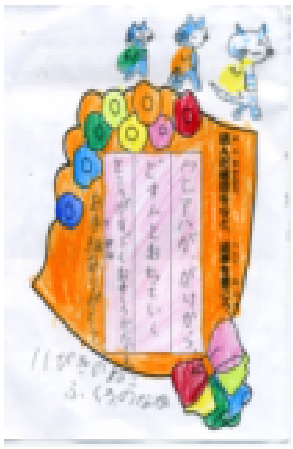
↑　各教室に置かれたポスト
読書郵便が届くとうれしいな。



↑　読書郵便を書こう。
喜んでくれるかな？

↑　わくわく郵便局開設
図書館の中にわくわく郵便局が開設！
たくさんの利用者でわくわく郵便局は大盛況でした。

↑　読書郵便の配達
図書委員会が読書郵便の配達をしました。



↑　届けられた読書郵便
思いがたくさんつまった読書郵便が届きました。